



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会「そら」編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



臨床心理士
たちばな 直子
なほこ 直子

皆さんこんにちは。臨床心理士の立花直子と申します。主に通園や放課後等デイサービスのグループに参加し、発達検査・発達相談等、たくさんの方々に関わらせていただいています。この機会に、自己紹介を兼ねて、私のことを少しでも知っていただければと思います。

今は、臨床心理士という職種で働いていますが、元々は保育士をしていました。小さな頃から子どもと遊ぶことが大好きで、保育士になることが夢でした。保育士になりたいと思ったきっかけは、私の保育園時代の先生がとてもいい先生で、先生に憧れていたからです。卒園文集を読むと、入園当初は、環境に慣れなかったのか？毎日のように泣いていたそうです。そんな私ですが、卒園した頃には、「とにかく楽しかった！」という思い出しが残っています。田舎だったので、毎日のように「はげ山」に散歩に行き、ザリガニや蛙をとったり、ターザンごっこをしたり、外でたくさん遊びました。他にも、玉ねぎの皮の染物・編み物・お菓子作り・劇遊び等、たくさんさんの経験をさせてもらいました。今思えば、

大人の助けがあつての成功だったとは思いますが、当時は、何でも自分で考え、工夫し、成功させたという思いになり、達成感もたくさん感じることができました。そのような環境をさりげなく作ってくれた先生にとっても感謝しています。そして、自分が楽しかった思いがあつたことで、先生のように、子ども達にたくさん経験させたいなあ、「楽しい！」と思えるようなことを提供したいなあ、と思いながら保育士を目指していました。

そんな中、高校時代に出会った本があります。それは、河合隼雄先生の『子どもの宇宙』という本です。当時は、河合先生が臨床心理士であり、心理療法の話をしている本だとは全く気付かず、「なんて子どもの心に近い考えをもったおじさんなのだろう」という思いで、とても感動しながら読んでいました。子どもから大人へと変わっていく思春期の頃にこの本に出会い、「自分の気持ちをわかってもらえた」という思いがあふれる一方で、「こんなふうに子どもの心に近い大人になりたい！」と強く思うようになりました。当時は、スクールカウンセラーという制度もなく、臨床心理士という職業があることも知らなかったのですが、保育士になりたいという考えは全く変わらなかつたのですが、この頃から、「心・気持ち」等、心理面に興味を持ち始めたのだと思います。

士という職業があることを知り、どの道に進むか迷うこともありましたが、小さな頃から憧れだった保育士を経験せずには次に進めないと思い、保育士として働くことにしました。保育士時代は、0歳・1歳を担当し、物言わぬ子ども相手にもどのように関わっていくか、いろいろ考える機会になりました。また、一歳過ぎる頃の自我の芽生えで自己主張を激しくぶつけてくる子ども達に対し、どのように関わっていくのか、たくさん悩みました。しかし、いろいろ工夫しながら関わっていくことで、笑顔を引き出し、子ども達が安心して生活できるように考えることが楽しくもあり、とてもいい経験をさせてもらいました。

最初にも述べましたが、子どもと遊ぶことは大好きで、保育士もとても楽しかったのですが、やはり「心」に対する思いが強かったためか、今は臨床心理士としてこれまで働かせていただいています。無限に広がる宇宙のような子ども達の世界観を大切にしながら、どのような思いでこんなことをしているのかな？と考えつつ、少しでも子ども達の気持ちに近づけたらと思っています。また、子どもを支える保護者の方々ともお話をする機会が多いのですが、少しでもお気持ちに楽になるように、話を聴くことができればと思っています。まだまだ力不足なところはありますが、これからもよろしくお願致します。

夏のおすすすめスポット

梅雨も明け、いよいよ夏真っ盛りですね。暑い夏といえば水場！でも、「屋外プールや海は暑いし焼けるし・・・」という方々の為に、マイナスイオンに癒されながら涼しく、かつ経済的に、大人も子どもも楽しめるスポット、佐賀県鳥栖市にある【四阿屋(あずまや)】という場所を紹介したいと思います。



鳥栖市牛原町に流れる河内川の四阿屋神社境内付近を四阿屋といい、その境内に流れる溪流はまさに天然のプール。夏休み期間中は遊泳場になり、絶好の避暑地となります。周囲には樹齢六百年を越すクスノ木をはじめ、種々の古木が心地良い木陰をつくっているの、大人も涼みながら子ども様子を見ることが出来ます。清流に足を浸けるだけでも気持ちいいですが、飛び込んだり小さな滝に打たれたり、小魚や虫を捕まえたりと、いろんな遊びが楽しめますよ。今年の夏はぜひご家族で、天然の「涼」を求めて出かけてみてはいかがでしょう。

《利用時間》八時半～十七時まで
 《定休日》 悪天候時
 《利用料金》 無料
 《附帯設備》 トイレ・無料駐車場
 (そら委員 田中菜央子)

中村忠和さんからの寄稿

「元氣を作る！」

初めまして、私は尾久保研修所「みんなの館」で薬膳レストランと漢方薬店を開設している元氣クリエイトの中村忠和と申します。現在は週に一回、曜日別に本館ロビーにてお弁当を販売しています。

さて、「元氣を作る」についてですが、元氣って作るものなの？という質問が聞こえてきそうです。私は、元氣は作るものだと考えています。私の専門は調理ですが、この「食べる」につながる調理を正しく行くと、人は元氣になっていきます。

では、忙しくてなかなか調理の出来ない人は、元氣が作れないのでしようか？そんな事はありません。お惣菜やお弁当、外食での選び方の知恵を身につければ、誰でも氣樂に元氣を作ることができます。

一番簡単な方法は、季節に合わせてること。良く「旬のものを食べると良い」と言われますが、その季節に美味しくなるものは、人の体にとって必要なものが多く、しかも安全で安心なものが安価で出回ります。あとは自分やご家族の状態を知ることです。

このようなことを六月二十九日に保護者の方へお話しさせて頂きました。食についての疑問や、元氣を作る日常の知恵をお聞きになりたい方は、週に一度のお弁当販売時にお気軽に声をおかけ下さい。よろしくお願ひします。

江の島セミナー報告

六月二十日～二十一日、全国通園施設職員研修会「江の島セミナー」に参加させて頂きました。全国の通園施設の職員が集まり、「児童福祉法改正」や「障害者虐待防止法を含めながら権利擁護について」の講演会、また、各施設からの発表を元にディスカッションを行いました。その中でこぐま福祉会の「入園から一年間は同伴通園」という所に驚かれ、「保護者が一年間しっかり関わるといって考えがすごい！」とのたくさんの意見を頂きました。今後も同伴通園の意味を大切にしていきながら子ども達や保護者の方と接していきたいと思ひます。(保育士 伊藤裕子)

おくぼ月のまつりのお知らせ

今年も、上陽町の尾久保研修所で「おくぼ月のまつり」を開催します。みなさんお誘い合わせのうえ、ぜひ遊びに来て下さい！

《日時》※雨天決行
 9月29日(土)17時～20時半

《ステージイベント》
 カラオケ、バンド演奏、踊り
 落語公演(お箱家志ん茶さん/室園銘茶)
 豪華景品が当たるじゃんけん大会
 (1回目 18:30/2回目 20:00)

《スペシャルゲスト》 岡部はち郎さん

★地元特産品の直売もあるよ！！

夕涼み会のお知らせ

今年度は夕涼み会を開催します！みんな、暑い夏を楽しみましょう♪ ※当日は受付をお願いします。 ※チケット制になります。当日のチケット購入は大変混み合いますので、事前に受付での購入にご協力下さい。夏の思い出に、みなさんふるってご参加下さい！！

(夕涼み会実行委員 横山)

《日時》※雨天決行
 8月25日(土)17時～20時15分

《コーナー紹介》

- ステージイベント
- 飲食コーナー
 カレーライス・焼きそば
 かき氷・わたがし
 ジュース など
- イベントコーナー
 くじ引き・ヨーヨー など
- 花火

行事予定

- 一日(水)～四日(土) 療育キャンプII
- 八日(水) 避難訓練
- 十四日(火)～十五日(水) 夏季休暇
- 十七日(金) 三国保育所交流
- 十七日(金)～十八日(土) こぐま療育セミナー
- 二十五日(土) こぐま夕涼み会
- 二十八日(火) 五条保育所交流



<ちょうちょ> 絵の具あそび♪



<ぼった> あわあそび!!

夏の療育

長かった梅雨も明け、いよいよ夏本番！今年も水遊びや、泡遊びなど夏ならではの療育を楽しんでいます。夏の太陽のような子どもたちのキラキラ笑顔、楽しそうな様子を紹介します！

(保育士 橋田)

<ゆう誕生会> ボティペイント★



<とんぼ> みずあそび♪



<かぶとむし> どんごあそび♪



買い物に行きました

六月二十九日(金)に、生活介護事業所「べあクラブ」では、社会体験の一環として久留米ゆめタウンへ買い物に行きました。

フードコートでの昼食は、いつもとは違うおしゃれな空間での食事にご利用者の皆さんの目はとても輝いていました。

買い物体験では、たくさんの商品の中から選択したり、店員さんとのやりとりを経験し、気分転換にもなり楽しい社会体験となりました。

(生活支援員 大里)

買い物
いってきまーす♪



オムライス
おいしい!!



お気に入りのストラップ
を見つけました☆



育児?日記!

保育士の松尾です。子育て十一年目、三人の子の母親で、八女市黒木町に住んでいます。周りは「緑・緑・時々人」と自然の中で子ども達はこのびと育っています。

私が帰宅すると「ぎゅー」っとハグしてきた長男(壮馬)は、小学四年になり、先日「抱っこしようか?」と聞くと「遠慮します」と丁寧に断わられ、ちよつと寂しい私です。今は、下手だけど野球を頑張っています。

小学一年になった長女(帆乃佳)は、ちよつとお姉さんぶりを発揮して弟を説教しています。ただ、その口調が私そっくり!子どもは、しっかり親を見ています・・・(笑)

そして誰に似たのか落ち着きのない年長の次男(圭悟)。この子だけお帰りの“ぎゅー”をしてくれませう。三年連続砂遊びをし、運動会に参加しなかつた圭悟も、今年は竹のぼりに挑戦中でやる気満々です。

三者三様、子育ても一通りではいきませんでした。まだまだ子育て?中ですが、一つ言えること。ぎゅーは、親も子どもも気持ちをおかしてくくれます。そして、子育ては二十四時間勤務。周りに援助してもらって子育てを楽しみましょう!お母さんも休息の時間大事ですよ!



(保育士 松尾)

心の窓



ぼったグループ
倉掛 愛里奈ちゃん

愛里はウンです。週四日、ぼったグループに通っています。年の十二月、四歳になった頃から歩行がしっかりとできて、ことばも少しずつ話せるようになってきました。ヤングル やトランポリン、にブランコあそびをしたりと、年の今頃からはもつかないくらい元気いっいです。そんな愛里ですが、生まれて一月は上手におっいが えませんでした。生後七月で てんかんを発。食は一切受け付けない。三歳直前まで歩けず、本当にゆっくり、ゆっくりと大きくなってきました。母で育てたいという私を支えて下さった助さん。一つ一つ食べられるものを見付けていって下さった先生の。本当に歩けるようになるの？とる私を、毎回「大丈夫ですよ」と安心させて下さったの先生。私一人では絶対にここのま

は周囲の人に関心があり、に子どもにはいせられるように近づいて行って真似していたことです。そんな好奇心盛な子だったので、歩く前からたちグループに参加させて頂きました。年には、グループ。初めての食には、い、手をつけようとはしませんでした。しばらくは、ンを持参していましたが、ある日、先生に「このままではいけないので頑張ってみましょう！」と言われたのです。食を一口食べないと大好物のーグルトはよ、と言われた愛里はをこらえてじーっと目の前の食をにらんでいました。みんなが当たり前で食べているものが食べられないを見て、私も泣きました。でも、私達親子はこの日から変わったと思います。今ではおのったなにかしらのおかずに手をつけるようになりました。いりこも大好きです。こんなふうに愛里と私のそばにはいつもこぐま学園の先生方やスタッフの皆さんがいてくださり、悩みながらも「障がいとは本人にとつての生きづらさ」ということがわかりかけてきました。私はずっと障がいのある子を かつた私が生きづらいつ思っていました。でも、今はこれから先、が少しでも生きやすくなるように、と思いつながら療育にん

（愛里の母）

★のぞみ★

の みグループは小学校四、六年生の子とも達で 成されるグループです。ーお 達と協力し、話し合い、 を立てて実行すること、相手に わるよう に提 をすること」を目 に、月二回活動しています。

実は 現在、十三の ンー全員が男の子の「男クラ」で、活動中はとでも やかです。四月には、「お前、何年生？」なんて、ちよっ り々しい があちこちで り広げられていましたが、チー で活動を みね、最近では、話し合いがスー に、良い 囲気の中で進められるようになってきました。女子 ンー 集中です！

（保育士 田）

★のぞみクラブ★

の みクラブは、他の放課後等デイサービスのグループとは少し違い、小学生から高校生までの広い年齢の ンーが在 しています。

他児と協力し、ある 度 められた選択 や手 の中で話し合いができる事や様々な活動を経験し、興味を げることを目に、月二回活動を行っています。今までに ンブー やマーブリング等をしました。今後子ども達が興味を持ち楽しむ活動を しています。

（児童指 員 田）

第1回ティベート大会！！



放 課 後 等 ティ サ ー ビ ス グ ル ー プ 紹 介

ボウリング♪ 倒れるかな？！

